

令和 4 年度大阪府理学療法士会生涯学習センター第 4 回理事会議事録

日 時：令和 4 年 7 月 13 日（水） 午後 6 時 30 分～午後 9 時 30 分

会 場：Web 会議

出席者：中川理事長、芳本副理事長、井阪理事、射場理事、村西理事、千葉監事、  
大井局長、辻畑局長、田竈局長、大槻局長

書 記：北野、中平、天野

I. 令和 4 年度第 4 回理事会議事録

1. 承認事項

- 1) 令和 4 年度第 3 回理事会議事録  
資料参照のうえ承認された

2. 報告事項

- 1) 各局事業進捗報告  
各局長より報告があった。
- 2) 第 4 回生涯学習研修集集中間報告について  
村西理事より 1 次申込者数(合計 437 名うち未決済者 24 名含む)及び参加収入について中間報告があった。参加者数については、2 次申込者が現在進行中であるがスタートは芳しくない状況である。中川理事長より最終申込者数の報告を以て当初見込み数との差について分析を行うよう話があった。

3. 審議事項

- 1) 大阪市北区理学療法士会主催研修会の開催企画について  
本審議については、役員 ML にて審議、承認されており本理事会で追認された。
- 2) ホームページ管理業者の再選定について  
芳本副理事長、辻畑局長より以下の説明があった。スマートコアであれば誰でも閲覧できるホームページと会員のみ閲覧の制限もかけることができる。また、フォーラム等イベントやタイムテーブルも掲載可能。会員専用のホームページであれば会員同士がコミュニケーションをとることができる。使い勝手が難しいためスマートコアへ移行する前にまずは、生涯学習センターの部員が使用し、その後会員に公開するのも検討。会員の管理数が制限されることはない。一番の問題はドメインの問題であり、生涯学習センターのホームページのドメインを移行すると今までのデータがすべて見れない状態になってしまう。スマートコアのドメインで引き続き続けるのか検討すべきであるとの意見があった。利便性としては運営側も参加側も個人会員管理システムのほうが便利かと思われる。シンカネットとスマートコアを同時進行で使用し準備が整い次第スマートコアに乗り換えることも検討する。本議案について、HP 管理業者の再選定を行うことについて承認された
- 3) 大阪学会および研修集会の開催時期について（再考）  
中川理事長より、研修集会と学会のどちらかしか休めない部員もいるため分散開催も検討するべきであるとの意見があった。2023 年学術大会は当初予定の 7 月 1 日（土）に行い、研修集会は近畿学会を避けて秋ごろに日程変更を行う。大阪国際会議場ではハンズオンは難しいため場所の変更は必要。ハンズオンの会場確保のために早々に研修集会の部長を中心に会場を検討する。本議案について、審議の結果、承認された。尚、研修集会の開催日については、候補日が決まり次第報告される予定である。

4) R 4 年度法務顧問・税務顧問との業務委任契約更新について

井阪理事より本年度の総会が終了したことから、吉田法務顧問及び吉川税務顧問との顧問契約の更新を進めるとの説明があった。尚、税務に関しては新たに本年度から財務部員の業務負担を軽減するために全ての事業活動帳簿の管理を吉川顧問が在籍される㈱クレア税理士法人に業務委託するため月の契約額の変更が生じる。本議案について、審議の結果、承認された。

5) 講師謝金および受講料の規定改定について

井阪理事より現行の規定では、消費税及び源泉徴収税の扱いが明示されていなかったため規定の改定を行った。新生涯学習制度に伴い第2条の規定に変更が必要となることが判明し再検討を行う。本議案について、継続審議となった。

6) 1) の議題と重複したため末梢する。

7) 問い合わせフォーム対応における不備および原因と改善対策について

村西理事より不備が生じたそもその原因としては問い合わせフォームに問い合わせと研修会開催申込依頼が併せて記載されていたことである。その問い合わせに対し回答等について担当者間の共有が出来ておらず、個人での対応で済ませてしまったためであると考えられる。改善策として今後は、問い合わせフォームで分類され自動的に担当部署に転送されることによって複数の目に入ることで共有していくべきであるとの意見があった。また、そもそも問い合わせメールでは問い合わせ以外は受け付けないことを前提とするべきである。本議案についてはその対応策について改めて提示することとなり継続審議となった。

8) 堺市理学療法士会の主催研修会の開催企画について

村西理事より堺市理学療法士会から提出された開催趣旨及び予算案について説明があり開催要件について適正と判断し、審議の結果、承認された

9) 総合理学療法学の冊子体発行および配布継続の可否について

村西理事より第2回総合理学療法学の発刊を終えた。第1回、第2回は府士会員及び関係団体への周知のために無料配布していたが、製本費約112万円程度かかっているため、府士会員への配布を終了も検討。元々の目的としては総合理学療法学の創刊間もない時期に会員へ周知するための広報媒体としての役割であり、目的が果たせたのちはオンラインにする方針であった。今後は、J-stageに記載するのも検討。府士会員以外（他県士会、図書館）には継続して寄贈し、新人に限定した配布してはどうかとの意見もあった。来年からオンラインジャーナルにて発刊することを早々に府士会ニュースまたはホームページにまず掲載するべきであるとの意見があった。本議案について、審議の結果、承認された

10) センター(研修部)主催研修会について

村西理事より企画について研修会はオンラインを使用し、受講対象は新人・若手を中心とするが、中堅以上も参加可能である。研修会終了時にアンケートを取り受講者のニーズを把握するべきであるとの意見があった。

7月25日27日開催予定の研修会については広報がHP、府士会ニュースに掲載できていなかったため、改めて講師に確認を行い、日程調整を行う予定である。また、8月以降の研修会についても早々にホームページ等で広報を行う必要がある。広報は開催の2カ月前程度の余裕が望ましいため今回提示された開催日の見直しも早急に必要であるとの意見があった。本議案については、急を要す案件となるためメールにて審議することとなり継続審議となる。

4. その他 特になし。